

はあとふる ふくしま



「はあとふる・ふくしま」の作成経費の一部として、共同募金配分金および特別賛助会員の寄付金を使用させていただいております。

目の不自由な方のために「はあとふる ふくしま」は音訳版及び点訳版を作成しています。

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会



No.272

4.5月
2019

特集

2019 年度 福島県社会福祉協議会 新規事業紹介及び事務局体制

「だれもがその人らしく、安心して暮らせる福祉社会」を目指して



地域住民の交流の場に、
たくさんの
笑顔があふれています

毎月第3木曜に開催されている認知症カフェ「ボータンカフェ かわせみ」。介護の有無にかかわらず、だれでも気軽に参加できるお茶のみ場として、毎回楽しみにしているという方もいます。

★詳しくは 6 ページでご紹介

お知らせ

第88回 全国民生委員児童委員大会 福島大会開催！

2019年10月17日(木)・18日(金)
ビッグパレットふくしま(郡山市)



「だれもがその人らしく、安心して暮らせる福祉社会」を目指して

2019年度 福島県社会福祉協議会 新規事業紹介及び事務局体制

新年度のご挨拶

社会福祉法人福島県社会福祉協議会

会長 瀬谷 俊雄

新年度を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。

少子高齢化や核家族化の進行、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化等により、県民が抱える福祉課題は多様化・複雑化してきております。

特に、本県では東日本大震災以降、世帯分離が進んでいることから、高齢者の独り暮らしあるいは高齢者のみの世帯など地域全体での支援を要する方々が増えています。

こうした課題を解決していくために、一人ひとりの課題を地域全体で支え合う「地域共生社会」の実現が求められています。社協においては、地域住民から寄せられる多様な生活課題をしっかりと受け止め、地域を基盤とした支援や解決に向けた仕組みづくり、地域の関係機関や団体との連携・協働の取組みを広げ、地域のつながりの再構築を図ることなどの役割がより一層期待されています。

本会におきましては、引き続き関係機関や専門機関と連携して「地域共生社会」の実現に向けて取組むとともに、本会活動推進計画の基本理念である「だれもがその人らしく、安心して暮らせる福祉社会を目指す」ため、次の取組みにより本県の社会福祉の向上を目指していきます。

2019年度 県社協 新規事業紹介

1 成年後見制度の利用促進

1 成年後見制度利用に関する相談窓口の設置

県民からの成年後見制度や制度利用に関する相談窓口を設置し、相談に応じます。

2 成年後見制度担当職員研修の開催

成年後見制度利用や市町村社協における法人後見事業実施を促進するため、市町村社協、地域包括支援センター、相談支援事業所等職員の資質向上を図るための研修会を開催します。

3 成年後見制度地域連携ネットワーク会議（仮称）の開催

成年後見制度の利用促進のため、関係者間の情報共有を図り、地域におけるネットワークの構築等について検討します。

2 福祉人材の確保・育成・定着に向けた支援

1 新採用保育士合同研修会の開催

新しく採用された新任保育士を対象に宿泊研修を行い、コミュニケーション等の技術を高めるとともに保育士同士のつながりの構築を図ります。

2 多様な人材を確保するためのセミナーの開催

様々な対象に合わせた説明や発信、定着に向けた取組や工夫について、専門家や実際に取組む法人等から学ぶセミナーを開催します。

3 民生委員・児童委員、主任児童委員との協働・支援

1 新任会長研修の開催

新任の単位民児協の会長を対象に、会長の役割や組織活動について学ぶための研修を開催します。

2 第88回全国民生委員児童委員大会の開催

本県において開催する第88回全国民生委員児童委員大会に向けた準備・開催を支援します。

4 避難者支援コーディネーター研修の開催

市町村社協に配置されている避難者支援コーディネーター（主任生活支援相談員を含む）を対象に地域支援の手法や企画・立案に関する研修を開催します。

5 生活困窮者に対する家計改善支援事業の実施

県保健福祉事務所管内の46町村を対象に、経済的困窮にかかる家計改善が必要と想定される生活困窮者に対し、家計状況の把握と課題整理により家計改善の支援を行います。

6 「社協・生活支援活動強化方針」普及・促進事業の実施

全社協で作成した「社協・生活支援活動強化方針」チェックリストを用いて、各社協の事業・活動を評価分析することにより、社協の組織・事業基盤の強化に取組みます。

7 地域共生社会づくり推進セミナーの開催

地域に暮らす住民自らが地域の課題を「自分のこと」として捉え、人と人、人と資源が世代を超えてつながり、一人ひとりの生活課題を地域全体で支え合う取組について学ぶセミナーを開催します。

県社協 事務局体制及び組織図(連絡先)

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地
福島県総合社会福祉センター内

福祉サービス支援課

- 第三者評価事業
- 社会福祉法人・社会福祉施設への支援
- 施設種別部会・協議会の運営
- 介護福祉士修学資金等貸付
- 保育士修学資金等貸付
- TEL : 024-523-1256
- FAX : 024-573-8201
- E-mail : shisetsu@fukushima-kenshakyo.or.jp
- ひとり親職業訓練促進資金貸付
- 児童養護施設退所者自立支援資金貸付
- TEL : 024-573-8200
- FAX : 024-573-8201
- E-mail : jidou@fukushimaken-shakyo.or.jp

地域生活定着支援センター

- 矯正施設を退所した高齢者や障がい者への生活支援
- TEL : 024-523-0102
- FAX : 024-573-8201
- E-mail : teichaku@fukushima-kenshakyo.or.jp

生活支援室

- 生活福祉資金の貸付
- TEL : 024-523-1250
- FAX : 024-523-4477
- E-mail : seikatsu@fukushima-kenshakyo.or.jp

地域福祉課

- 地域福祉活動の推進
- 市町村社会福祉協議会への支援
- 民生委員・児童委員活動の推進
- TEL : 024-523-1252
- FAX : 024-523-4477
- E-mail :
 - ・chiiki@fukushimaken-shakyo.or.jp
 - ・minkyo@fukushimaken-shakyo.or.jp (民生児童委員協議会)

●あんしんサポート事業 (日常生活自立支援事業)

- TEL : 024-523-2442
- FAX : 024-523-4477
- E-mail : sien@fukushimaken-shakyo.or.jp

避難者生活支援・相談センター

- 生活支援相談員の活動支援
- TEL : 024-522-6543
- FAX : 024-522-6546
- E-mail : toukatsu.f@gmail.com

ボランティアセンター

- ボランティア活動に関する相談・情報の提供
- ボランティア担当者の資質向上
- 福祉教育の推進
- 生活復興ボランティア活動への支援

- TEL : 024-523-1254
- FAX : 024-523-4477
- E-mail : vc@fukushimaken-shakyo.or.jp

総務企画課

- 法人運営
- 総合企画・提言活動
- 共済事業
- 広報誌の発行
- 社会福祉従事者の福利増進
- 社会福祉団体の支援
- TEL : 024-523-1251
- FAX : 024-523-4477
- E-mail : soumu@fukushima-kenshakyo.or.jp

生活自立サポートセンター

- 生活困窮者等への支援
- TEL : 024-525-8801
- FAX : 024-521-5663
- E-mail : support@fukushima-kenshakyo.or.jp

①会津事務所

- 〒965-0873 会津若松市追手町5-32 会津若松市社会福祉協議会内
- TEL : 0242-23-7445
- FAX : 0242-23-7724
- E-mail : support-aizu@fukushima-kenshakyo.or.jp

②県中・県南事務所

- 〒969-0404 岩瀬郡鏡石町旭町161 鏡石町老人福祉センター内
- TEL : 0248-94-7800
- FAX : 0248-94-7801
- E-mail : support-kentyu@fukushimakenshakyo.or.jp

③相双事務所

- 〒979-2102 南相馬市小高区小高字金谷前84 小高保健福祉センター内
- TEL : 0244-32-1753
- FAX : 0244-32-1783
- E-mail : support-soso@fukushimakenshakyo.or.jp



会 長

副会長

事務局長

事務局次長

いきいき長寿課

- いきいき長寿県民賞の顕彰
- 福島県シルバー美術展の開催
- シニア団体活動支援事業の実施

TEL : 024-524-2224

FAX : 024-524-2228

E-mail : choju@fukushima
kenshakyo.or.jp

高齢者総合相談センター 成年後見サポートセンター

- 高齢者の心配や悩みごと、
成年後見制度に関する相談

TEL : 024-524-2225

FAX : 024-524-2228

認知症コールセンター

- 認知症に関する専門相談

TEL : 024-522-1122

FAX : 024-524-2228

福島県運営適正化委員会

- 福祉サービスの苦情解決の
ための第三者機関

TEL : 024-523-2943

E-mail : kujou@fukushima
kenshakyo.or.jp

人材研修課

- 社会福祉従事者研修の実施
- 福祉職員キャリアパス対応
生涯研修の実施
- 福祉人材定着促進事業

TEL : 024-523-1259

FAX : 024-521-5663

E-mail : kensyu@fukushima
kenshakyo.or.jp

福祉人材センター

- 無料職業紹介事業
- 福祉人材の養成確保
- 福祉人材マッチング支援事業
- 介護支援専門員の養成

TEL : 024-521-5662

FAX : 024-521-5663

E-mail : jinzai@fukushima
kenshakyo.or.jp

- 福祉人材確保推進プロジェクト
事業
- 県外からの福祉人材確保支援

TEL : 024-526-0045

FAX : 024-524-3618

E-mail : jinzai@fukushima
kenshakyo.or.jp

保育士・保育所支援センター

- 潜在保育士の再就職支援
- 保育所経営者向けセミナーの開催

TEL : 024-521-5662

FAX : 024-521-5663

E-mail : jinzai@fukushima
kenshakyo.or.jp

人材研修課 二本松事務所

- 一般県民を対象とした介護
講座の実施
- 相談員や介護職員等を対象と
した専門研修の実施

〒964-0904

二本松市郭内一丁目196-1
(県男女共生センター5階)

TEL : 0243-23-8306

FAX : 0243-23-8314

E-mail : kaigo@fukushima
kenshakyo.or.jp





取材協力

社会福祉法人
須賀川市社会福祉協議会
須賀川市八幡町 135
TEL0248-88-8211



1

認知症になっても、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続できるよう支援するとともに、家族の介護負担の軽減を図ることを目的に運営されている「認知症カフェ」。須賀川市内には3カ所あり、その1つ「ボタンカフェ かわせみ」は、須賀川市の補助事業として、須賀川市社会福祉協議会（以下…市社協）が平成27年10月から運営を行っています。認知症カフェは高齢者福祉施設やNPO法人などが運営するケースが多いのですが、市社協では地域包括支援センター（以下…包括）を受託していることもあり、認知症の方への支援として包括と合同でカフェの運営を始めました。

市内茶畑町にある市民温泉内の旧食堂を利用し、毎月第3木曜（変更になる月もあり）の午後1時30分から開催されているカフェは、「介護相談や認知症についてなど誰でも気軽に相談できる場

**介護者が地域とつながりを持つことで
認知症への理解と関心が深まる**

認知症の方やその家族、地域住民、介護や福祉の専門家などの交流の場として利用されている「認知症カフェ」。介護の有無に関わらず、さまざまな人が思いを共有したり、情報を交換するだけではなく、介護が必要となった時にまずは気軽に相談できる場として、そのニーズは年々高まっています。

**気軽に話せる「お茶のみ場」として
地域住民が誰でも交流できるカフェに**

認知症カフェ ボタンカフェ かわせみ



Interview



「ちょっとした気になることも
その場で聞くことができるのが、
参加者の安心につながっています」と大沼さん

として、介護をされている方や近隣住民など、毎回20〜30名ほどに参加いただいています」と、市社協・生活サポート相談センター長の太沼尊善さん。参加費200円のカフェ形式にしたのは、堅苦しい相談の場ではなく、気軽にお茶のみ話ができる場所になればという思いからで、飲み物と一緒に市内の福祉事業所で作っているお菓子を提供しているほか、福祉事業所が出店した販売スペースも設けています。また、毎月ボランティアの方々にも協力いただいております。関係者の皆さんと協働しながら運営しています。

この日も多くの人が集まり、室内にはにぎやか



123世間話をする中で気になることを聞くことができ、認知症への理解を深めることができます



4カフェの名前は、須賀川市のキャラクター・ボタンから付けています

5仁井田、岩瀬、長沼地区でも出張型の認知症カフェを開催しました



毎回好評の認知症に関するミニ講座は、市内で活躍している専門職に協力いただき、認知症の基礎知識や予防、認知症の方への接し方などをテーマに行われています。専門的なものではなく、自宅でも実践できるような内容になっているのが特徴で、この日は、保健師による須賀川市の認知

**気軽に相談できる窓口を増やし
介護への負担を軽減していきたい**

Interview



「さまざまなテーマで行われるミニ講座はとても勉強になり、みんな楽しみにしています」と安積さん

な声が響いていました。「静かすぎると悩みごと
も話しづらいですが、にぎやかなことで、かえっ
て安心して話すことができるのではないでしょ
うか」と大沼さん。

近所の方と5人で参加していた地元町内会長の
安積昭好さんは、「ふだんから地域で介護予防体
操を行うなど、皆さん介護への関心は高いと思
います。開設当初から参加していますが、いろん
な話ができるのがいいですね」と笑顔で話します。
今年から参加しているという80代の夫婦も「カ
フェで毎回やっている認知症川柳に投稿していて、
皆さんの楽しい作品にいつも笑いが絶えません」
と、開催を楽しみにしている様子でした。

症施策についての話があり、その内容や日頃不安
に思っていることなどについての質問が次々と上
がり、参加者の認知症への関心の高さがうかがえ
ました。

カフェには保健師、介護福祉士、社会福祉士な
ども参加しているので、気になることがあればそ
の場で相談できます。すぐに解決できない内容の
場合は包括などの窓口につないだり、自宅に訪問
してもらい相談したりといった対応も可能で、「市
役所などの行政機関にわざわざ行くのは大変だし、
どこに聞けばいいかわからないという人もいるの
で、どんな小さなことでも気軽に相談できる場所
として活用してほしい」と大沼さんは話します。

また今年度からは、常設のかわけみ以外にも、
仁井田・稲田・岩瀬の各地区と、今年1月に市役
所近くに開設した市民交流センターetteで、
それぞれ年2回程度出張カフェを開催することに
なりました。「住んでいる所に近いと参加しやすい
ので、私たちが出向いていくことが必要だと思っ
ています。ゆくゆくは、市内に9つある行政区す
べてで出張カフェを開催できるようにしていきたい
と考えています」と大沼さん。「介護をしていると
どうしても家に閉じこもりがちになります。この
カフェで悩みを共有
したり、話すこと
で気持ちが軽くなっ
たりするので、一人
で抱え込まないで
まずは参加してみ
てほしい」と話し
ていました。



認知症川柳の
投稿では毎回3作品を選び、
社協だよりでも紹介しています



赤い羽根 ささえあい

社会福祉法人福島県共同募金会

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 (福島県総合社会福祉センター内)

TEL (024) 522-0822 FAX (024) 528-1234

●メールアドレス akaihane@axel.ocn.ne.jp

●ホームページ <https://akaihane-fukushima.or.jp/>



2018(平成30)年10月1日から6カ月間にわたり展開された共同募金運動は、2019(平成31)年3月31日をもって受付を終了しました。皆さまのご協力により、多くのご寄付を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。今月号では、皆さまからお寄せいただきました募金の実績額と使途の概要についてご報告いたします。

なお、詳しい配分先等については、福島県共同募金会ホームページにて公開しておりますので、ぜひご覧ください。

2018(平成30)年度共同募金運動実績額 4億2,842万0,031円

赤い羽根共同募金実績	2億8,602万5,665円	歳末たすけあい募金実績(A+B)	1億4,239万4,366円
赤い羽根共同募金は、2019年度に以下の内容に役立てられます。		A. 地域歳末たすけあい募金 1億2,462万6,023円	
①福祉施設の整備 81,420,000円		地域歳末たすけあい募金は、2018・2019年度に以下の内容に役立てられます。	
②県域で活動する福祉団体の支援 4,420,000円		①日常生活支援 50,426,314円	
③広域福祉活動の推進 9,580,000円		②社会参加・まちづくり支援 51,230,823円	
④地域福祉基盤整備 3,680,000円		③社会福祉施設支援 4,822,648円	
⑤小規模作業所等の運営支援 1,700,000円		④その他の地域福祉支援 17,506,950円	
⑥住民参加の福祉社会づくり 3,000,000円		⑤災害対応・防災 639,288円	
⑦地域課題解決型募金への配分 1,586,808円		合 計 124,626,023円	
⑧非常災害・緊急事態への対応 5,964,148円		B. NHK歳末たすけあい募金 1,776万8,343円	
⑨災害等準備金(積立金) 12,000,000円		NHK歳末たすけあい募金は、2019年度に以下の内容に役立てられます。	
⑩市町村社会福祉協議会活動の推進 123,876,368円		①障がい者支援事業 1,830,000円	
⑪共同募金運動の推進 63,726,000円		②地域保育所(認可外保育施設)備品整備事業 550,000円	
合 計※ 310,953,324円		③児童養護施設就職支援事業 1,500,000円	
※実績額との差額 24,927,659円は、配分辞退などによる返還金等であり、今回の実績に含め配分に充てます。		④ハンセン病療養所県人会支援事業 190,000円	
		⑤災害見舞金 2,000,000円	
		⑥経費 353,343円	
		⑦繰越金 11,345,000円	
		合 計 17,768,343円	

お知らせ

福島県共同募金会では、現在下記の申請等を募集しています。詳細はホームページをご覧ください。

2019年度共同募金による 2020年度配分申請の受付について

- 配分対象…社会福祉施設、県域で活動する福祉団体、小規模作業所又は地域活動支援センター など
- 受付期間…2019年4月1日(月)～5月31日(金)
- 配分決定…2020年3月下旬
- ※ 今回の申請受付は、2020年度に実施する事業となりますのでご注意ください。

2019年度赤い羽根共同募金運動スローガンの募集について

- 募集内容…赤い羽根共同募金運動を通じて、地域に広がる「優しさや支え合いの輪」や「福祉のまちづくり」をイメージするようなスローガンを募集します。
- 募集期間…2019年4月1日(月)～6月7日(金)
- 審査…2019年6月下旬～7月上旬
- ※ 福島県共同募金会が委嘱した審査員により審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞5点程度を選考し、賞状と記念品を贈呈します。

2019年度赤い羽根

「災害ボランティア・NPO活動サポート募金2」 被災地住民支え合い活動助成事業の 応募受付について

- 対象団体…福島県内において2019年度に実施する以下の活動で、主に①東日本大震災による避難者、帰還者及び転居者の住民同士が行う助け合い活動②東日本大震災により多くの住民が避難した地区等においてコミュニティを再生するために住民同士が行う助け合い活動③①と②の被災地住民を支援する活動を対象とする。
- 受付期間…2019年4月1日(月)から随時
- 助成決定…応募受付からおおむね1カ月程度
- ※本助成事業は、助成原資がなくなり次第終了となります。

きらり! ふくしMyスター

今回は
地域福祉課
職員
のお仕事

社会福祉法人
南相馬市社会福祉協議会(南相馬市)
地域福祉課
こやまだ まき
小山田 真生 さん



毎日笑顔でいること。それが私らしさ



どんな悩みも相談し合える環境なので、前向きに
捉え直すことができると話す小山田さん。

★
人の役に立ちたい
その思いから福祉の世界へ

「子どもの頃から誰かに頼られたり喜んでもらえたりすることが好きで、人の役に立つ仕事がしたいとずっと思っていました」と話すのは、天真爛漫な笑顔が魅力的な小山田さん。高校2年生のときに起こった東日本大震災がきっかけで、将来自分は何がしたいのかを本気で考えるようになったといいます。そんなとき福祉の現場が人手不足だと知り、福祉の仕事が自分に合っているのではと考え、高校卒業後は福祉の専門学校に進学。在学中に職場体験をした場所が、現在の職場である南相馬市社会福祉協議会でした。社会福祉協議

★
笑顔の絶えない雰囲気づくり
心通う瞬間が喜び

会(以下:社協)については授業では習っていたものの、実際にどんなことをしているところなのかはあまり知らずにいましたが、生き生きと働く職員の姿や、温かい職場の雰囲気とともに、地域の人のためにと尽力する社協の仕事に魅力を感じ就職を決めました。現在は入職して4年目、地域福祉課の事務職員として、主にあんしんサポート(日常生活自立支援事業※)や障がいがある方たちの交流の場づくり等の企画に携わっています。

あんしんサポートの業務では金銭の管理等の支援を行うため、利用者との信頼関係がとても大切です。突然入院することになった利用者をお見舞いに行ったところ、涙を流して喜ばれたというほど利用者からの信頼も厚い小山田さん。シビアな話になることもあるからこそ、利用者と接するときは話しやすい雰囲気づくりを心がけているといいます。なかなか心を開いてくれない利用者の方も、笑顔でいると自然と話をしてくれるようになるのだとか。「少しずつ

ですが、何気ない会話から利用者さんの複雑な思いや相談事を引き出せるようになってきました」と嬉しそうに話します。

「社協の仕事はどの部署も人と関わる仕事なので、「コミュニケーション能力が身に付き、自分の成長が実感できると思います」と小山田さん。今後は新たな分野の知識も身に付けてスキルアップしていきたい、と向上心ものぞかせます。休日のリフレッシュ方法を聞くと「家族や友人と過ごし、たくさん笑うこと」と、やはり「笑顔」が小山田さんの原動力のようです。取材中も終始笑顔が絶えず、場を和ませ、人の心をひきつける強い魅力を感じました。

職場の
上司から

順応性が高く、人の懐に
すっと入っていきま
うところには感服しま
す。利用者さんからも人
気で、職場でもムード
メーカー的存在です。



福祉総合相談センター長
さとう かずや
佐藤 和哉さん



アット ケ ン シ ャ キ ョ ー

@kenshakyō

facebook もチェック

県社協フェイスブックでも、本会事業を紹介しておりますので、ご覧ください！



社会福祉法人
福島県社会福祉協議会

検索

沈む瀬あれば浮かぶ瀬あり ～何が起ころかわからない!!～

人材研修課 齋藤 奈緒

東日本大震災から8年が過ぎました。発災当時、私は地域福祉課でボランティアセンターを担当しており、全国のおみなさんの支援を受けながら、「この桜が咲く頃までに、それぞれの市町村に災害ボランティアセンターを立ち上げたい」との思いで、日々の業務に邁進していました。

ところで、福島県総合社会福祉センターの向かい側には高等学校があり、事務室の窓からその校舎がよく見えるのですが、東日本大震災当時、この高校に通学していた学生が社会人となり、現在、福祉人材センターの職員として私と机を並べ、福祉人材の確保・定着に向けて共に汗を流しています。

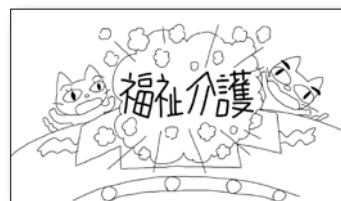
昨年度は、福祉人材センターのホームページを見やすく

するためのリニューアルを行い、また、「福祉の仕事」に興味・関心をもつきっかけになることを願い、中学生や高校生に向けて動画を作成し配信しました。もちろん8年前の高校生も、その真っすぐな姿勢、眼差しで、何度も打ち合わせを重ね、妥協することなく真剣に取り組んでくれました。

震災直後の慌ただしい日々のなか、目の前の高校に通っていた学生とこうして机を並べて仕事をする日が来るなんて、あの日の自分は想像もしていませんでした。この驚きと感動を喜びにかえて、福祉人材センター職員一丸となり、福祉の仕事の面白さや楽しさをひとりでも多くの方々に伝えたいと思っています。ぜひ、のぞいてみてください！



福祉人材
センター
ホームページ



福祉の仕事
のぞいてみよう



いきいき 長寿だより

高齢者総合相談センター
成年後見サポートセンター 相談事例より

高齢者総合相談センターでは、シニア世代の方やその家族の心配ごと、悩みごとの相談を受けております。またこの4月に新たに設置された成年後見サポートセンターでは、支援を必要とする認知症や障がいのある方などの成年後見制度に関する相談を受けております。相談は無料、秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。今月号では、実際の相談事例と相談員による対応について紹介いたします。

＜相談内容＞

86歳の父が、運転免許の更新を希望しています。家族としては年齢のこともあり免許返納を希望していますが、父は強く拒否しています。今後、地区の地域包括支援センターの保健師さんに相談する予定でありますが、どうすればいいでしょうか？



▶＜相談員の対応＞

お父さんはこれまでの便利な生活が不便になること、さらにプライドにも関わりますので、返納することはとても勇気のいる決断だと思います。また、返納後は**家族を含めた周りの方々のフォロー**も必要となってきます。

一方で、返納することにより、受けられるサービスも年々増えてきています。詳しいサービス内容については、地域によって異なりますので、お住まいの自治体等に問い合わせしてみてください。

さらに、地域包括支援センターは地域の様々な社会資源の情報提供もしてくれますので、お父さんの今後の生活で心配していることなどについて色々相談されるとよいと思います。

お父さんに対して、保健師さんからのアドバイスなども活用しながらご家族からのフォローを丁寧に説明して、免許の返納に向けてお父さんのお気持ちが少しでも動くといいですね。

人材研修課主催研修(上半期)のご案内

※都合により日程が変更になる場合があります。
※開催通知は、対象となる施設等に随時送付します。

人材研修課では社会福祉施設職員や地域福祉活動者を対象に、資質向上のため各種研修を実施しています。
令和元年度上半期の研修については下記のとおりを予定しています。

5/8	社会福祉施設等職員初任者基礎研修
5/14	認知症高齢者対応研修
5/21	障がい福祉施設職員基礎研修
5/28	保育所新任保育士研修
5/29～31	生涯研修課程中堅職員研修(第1班)
5/31	キャリアパス制度理解研修
6/4	児童厚生員・放課後児童指導員研修
6/5～7	生涯研修課程中堅職員研修(第2班)
6/10	老人福祉施設職員研修Ⅰ
6/12～14	生涯研修課程中堅職員研修(第3班)
6/17～19	生涯研修課程中堅職員研修(第4班)
6/18～19	新任訪問介護員研修
6/21(予定)	社会福祉法人事務長等研修
6/26～28	生涯研修課程中堅職員研修(第5班)
7/1	新人向けOJT(プリセプター)先進事例研修
7/3～5	生涯研修課程中堅職員研修(第6班)
7/8～9	キャリアパス制度運用研修(第1班)
7/10～12	生涯研修課程初任者研修(第1班)
7/16	訪問介護員テーマ別技術向上研修Ⅰ
7/17～18	キャリアパス制度運用研修(第2班)

7/17～19	生涯研修課程初任者研修(第2班)
7/23	保育所給食関連職員研修
7/24～26	生涯研修課程初任者研修(第3班)
8/2(予定)	社会福祉法人評議員研修
8/7～9	生涯研修課程初任者研修(第4班)
8/8～9	キャリアパス制度運用研修(第3班)
8/21～23	生涯研修課程初任者研修(第5班)
8/26	主任児童委員研修
8/27～28	キャリアパス制度運用研修(第4班)
8/28～30	生涯研修課程初任者研修(第6班)
9/5～6	生涯研修課程チームリーダー研修(第1班)
9/6	社会福祉施設看護等職員研修
9/12(予定)	保育指導管理者研修
9/13	研修講師支援研修①
9/17～18	訪問介護適正実施研修Ⅰ
9/18(予定)	児童福祉施設職員研修
9/19～20	生涯研修課程チームリーダー研修(第2班)
9/25	キャリアパス制度における評価実務者研修
9/26～27	生涯研修課程チームリーダー研修(第3班)

お問い合わせ 県社協 人材研修課 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111番地
TEL 024-523-1259(直通) メール kensyu@fukushimakenshakyo.or.jp

2019年度 県民介護講座(上半期)のご案内

※都合により日程やプログラムが変更になる場合があります

受講料
無料

『介護』に関心のある方ならどなたでも参加できます。興味のあるテーマのみの受講も可能ですのでぜひご参加ください!

初級介護講座

時間：午後1時～午後4時 ※お住まいの地区以外の会場でも受講できます。(各地区とも同じ内容です)

～はじめての介護講座～

「介護が必要になったらどうしたらいいの?」そんな疑問に介護のプロが
実技を交えながらお答えする講座です。介護を学ぶ最初の一步に最適。

県北・県中地区	5/25(土)	福島県男女共生センター
会津地区	7/13(土)	会津若松市北会津保健センター
県南地区	9/14(土)	白河中央老人福祉センター

介護実技基本講座

時間：午後1時～午後4時

会場：福島県男女共生センター

～知ってよかった!らくらく介護講座～

介護のプロから『介護技術のコツ』を学べる「実技」中心の講座です。
具体的な場面ごとに学べるので、すぐに役立つこと間違いなし!

5/18(土)	「安全な移動介助とその方法」
6/ 1(土)	「食事の介助とその工夫」
7/ 6(土)	「高齢者の栄養と食事」(簡単な調理)
7/27(土)	「排泄の介助とその方法」
8/17(土)	「清潔を保つ方法」
9/28(土)	「緊急時や災害時における対応」

介護ワンポイント講座

時間：午後1時～午後3時

会場：福島県男女共生センター

～知ってトクする!トクトク介護講座～

加齢に伴う変化や介護に関する知識を知っていることで、身体的にも、精神的にもラクになることがきっとあるはず。様々なテーマについて詳しく学べる「講義」中心の講座です。

5/11(土)	「介護保険の基礎知識」
6/22(土)	「医療と介護」
6/29(土)	「認知症を正しく知ろう～認知症サポーター養成講座～」
7/20(土)	「福祉用具と住宅改修」
8/ 3(土)	「元気な体いつまでも! (介護予防)」
8/24(土)	「介護する側される側の心理」

お問い合わせ 県社協 介護実習・普及センター 〒964-0904 二本松市郭内1丁目196-1(福島県男女共生センター5階)
TEL 0243-23-8306 FAX 0243-62-4633 ※日・月曜日(休館日)と祝日はお休みとなります。(月曜日が祝日の場合は火曜日が休館日)

高齢者総合相談センター・成年後見サポートセンターからのお知らせ

6・7月の「法律相談会」～弁護士による相談会～

相談時間 午後1時30分
～午後3時30分

※前日までの予約が必要
※1人30分以内(無料)

6月	7月
11日☾・25日☾	9日☾・23日☾

県社協 いきいき長寿課 高齢者総合相談センター・成年後見サポートセンター
TEL 024-524-2225

認知症コールセンターからのお知らせ

電話相談 月曜日～金曜日 午前10時～午後4時

面接相談 毎月第2・第4金曜日 午後1時～午後4時

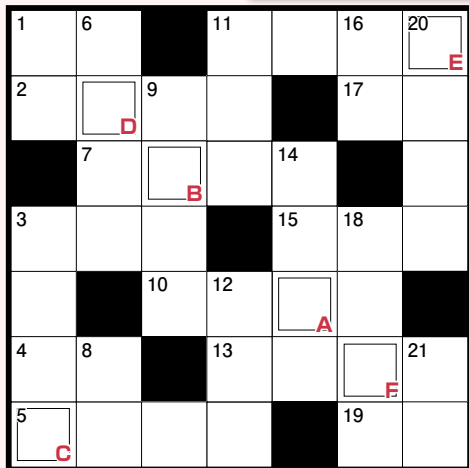
●認知症の方の介護経験のある相談員が、お話を伺います。どなたでもご相談ください。

県社協 いきいき長寿課 認知症コールセンター
TEL 024-524-1122

クロスワードにチャレンジ!

正解者から抽選で3名に
「サブレとパウンドケーキ詰め合わせ」
が当たる!

今月の正解者の中から抽選で3名様に、自立研修所ピーンズ(南相馬市)の「サブレとパウンドケーキ詰め合わせ」をプレゼントいたします。なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。



●全部できたら二重ワクの文字をABC順に読んでいくと、それが答えです。

応募方法 ハガキにパズルの答えと ①住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号、業種 ②本誌に対するご意見、ご感想、ご要望を全てご記入の上、下記までご応募ください。

締切 令和元年6月14日(金)

宛先 〒960-8141 福島市渡利字七社宮111 社会福祉法人 福島県社会福祉協議会 「はあとふる・ふくしまパズル係」

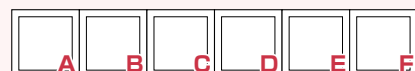
※ご記入の個人情報は適切に管理し、目的以外に使用しません。
※本誌に対するご意見、ご感想、ご要望の一部は、「読者のおたより」に掲載させていただく場合もございます。

ヨコのカギ

- 日本人がよく食べる魚介類 No.1
- お経を唱えるときにポクポク
- 家に伝わる戒めや教え
- 王様の耳は〇〇の耳
- 愛情の裏返し(?)。⇔慈しみ
- スラリと細く伸びた美脚「〇〇〇〇のような足」
- 水は100℃で
- 曲がるストロー、アコーディオン、提灯 ヴ／＼／＼／
- 2、4、6、8、10、12、14、16……2n
- くつろぎ。休息。〇〇〇のひととき
- ⇔苦
- パー＝紙、チョコ＝ハサミ、グー＝?

タテのカギ

- サト〇〇、タロ〇〇、ジャガ〇〇、サツマ〇〇
- 栗やキンカン、小魚を甘辛く煮つめたもの
- 〇〇〇〇しかじか
- 人の夢を喰って生きると言われる伝説の生物
- ?
- ⇔男子
- スズメに似た渡り鳥。漢字で書くと「鵜」
- ルビイ、キッド、ルパン、二十面相
- きれいな〇〇には棘がある
- 英語では「パフューム」
- 試験や審査に合格しないこと
- モウ～



3月号の正解「南相馬(ミナミソウマ)」

多数のご応募ありがとうございました。

2019年度 一歩ふみ出す お手伝い 相談無料 「福祉の仕事相談会&セミナー」

セミナー・相談会 要予約	時間	会場
4日(火)	10:00～	ハローワーク郡山
5日(水)	10:30～	ハローワーク相双
12日(水)	10:30～	ハローワーク白河
14日(金)	10:30～	ハローワーク会津若松
17日(月)	13:30～	ハローワーク福島
18日(火)	10:30～	須賀川市産業会館
25日(火)	10:30～	いわき市社会福祉センター
26日(水)	10:30～	ハローワーク二本松
28日(金)	10:30～	ハローワーク喜多方

※参加希望の場合は、各ハローワークへお申し込みください。

相談会 予約不要		相談受付時間 午前10時～午後3時（全会場共通）	
5日(水)	12日(水)	20日(木)	24日(月)
会津若松市 社会福祉協議会	いわき市 社会福祉センター	白河市 中央福祉センター	郡山市 総合福祉センター

詳しい内容は下記までお問い合わせください。

県社協 人材研修課 福祉人材センター/メール jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp
TEL(024)521-5662 FAX(024)521-5663

★ネット紹介システム(インターネット求人登録)は、
<https://f-fjc.com/> の福祉人材センターホームページからアクセス!

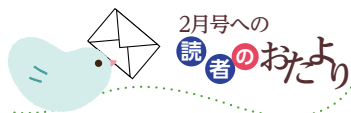
福島県母子家庭等就業・自立支援センターの 受託運営終了のお知らせ

福島県社協では、福島県母子家庭等就業・自立支援センターを2003年の開所以来、福島県より受託し運営してまいりましたが、2019年3月31日をもって本会による受託運営を終了することいたしました。当センターの運営にあたり、これまでいただきましたご支援、ご協力に感謝申し上げます。

2019年度からは、新たな受託事業所で運営されます。

■お問い合わせ先 福島県こども未来局児童家庭課
TEL 024-521-7176

■新たな受託先 株式会社トーネット
☎ 0120-650-110



2月号への

読者の「おたより」

- ・(株)クラロンの障がい者雇用率が高い。他の企業も同様に取組んでいくことを願っています。(81歳 無職)
- ・優しい心で自分から障がい者に接していけば、自然にそういう人が増えて、暮らしやすい社会につながっていくと思いました。(72歳 民生委員)

・地元の社会福祉協議会のチラシなどを参考に、私にできる社会貢献活動についても考えています。(68歳 農業)

・認知症のコールセンターを初めて知りました。困ったことがあったら、利用したいと思います。(83歳 主婦)

・私は身体障がい者です。最近の社会は障がい者に優しく、施設も利用しやすく工夫されており、感謝しています。共生社会を目指し、私も努力していきたいです。(77歳 施設利用者)

編集後記

新しい元号「令和」がスタートしました。新しい時代の幕開けとともに「はあとふるふくしま」も心機一転デザインをリニューアルし、今年度も11回発行します! 読者モニターさんやプレゼントに応募いただく皆さまからのご意見・ご感想を参考にさせていただきながら、ホットな福祉の情報を読みやすくわかりやすく皆さまに届けていきたいと思っています。(総務企画課 今野友)